

災害時要配慮者の支援構築



別府市企画部政策推進課 村野 淳子



活動の進め方（電動車いす利用者 一人暮らし）

2016/1/8 政策推進課 村野 淳子

①地域で活動する組織の洗い出し（仮例）

- ・自治会長・民生児童委員・福祉協力員・消防団・婦人会・包括・老人会
- ・社協・施設・NPO法人・病院・警察・まちづくり協議会・消防署・商工会
- ・サロン

②上記組織の活動エリアの確認

③各組織の把握項目内容の確認

④災害時要配慮者について必要な支援

- ・平常時・避難準備情報・発災時・避難時・避難所にて・その後

⑤行政や地域組織との役割分担の確認

⑥地域での活動者について

⑦訓練の開催→訓練後の検証→訓練→検証

⑧多様な団体との連携、役割分担の確認

⑨災害の種類、発生時間、季節等により

要配慮者の状況や支援者の状況が変化することの確認

- ・水害・地震・火災・津波・雪害
- ・昼・夜・平日・祝祭日
- ・春・夏・秋・冬

⑩担当の要配慮者は、避難の優先順位をつける（民生委員さん等と相談）

（ランク付け...多課協働）

A...一人で移動できない（5、6人支援者）

B...付き添いがいれば移動できる

C...一人で移動できる

これまでの活動

○ヒアリング終了

- ・当人（電動車いす利用者）
- ・A事業所 B事業所 C事業所（ヘルパー派遣）
- ・幹旋不動産
- ・自治会長
- ・消防団
- ・民生児童委員
- ・最寄交番
- ・生活支援相談員
- ・消防署
- ・別府市身障協 副会長

○庁内説明

- ・社会福祉課...民生児童委員さんへ
- ・障害福祉課
- ・自治振興課...自治委員（自治会長）さんへ
- ・危機管理課...警察・消防・消防団へ

○総合計画審議会...今後の政策へ

○会議

- ・生活相談支援員とヘルパー派遣3事業所との支援内容検討会議

今後の予定

- ・第2回生活相談支援員とヘルパー派遣3事業所との支援内容検討会議

		0:00	1:00	2:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00		
Sさん	就寝																			
	ヘルパー					車椅子移乗・トイレ・朝食・掃除・洗濯・昼食準備							夕食・入浴・洗濯物の片付け・ベッド移乗							
	食事					朝食					昼食				夕食					
	外出										移動介助									
	排泄														2回					
	入浴															入浴				
A事業所	派遣					月～金														
		ヘルパー10分・15分 2名 車 携帯																		
B事業所	派遣															火・水・金 土・日（隔週）				
		男性ヘルパー2名 15分 車 携帯																		
C事業所	派遣													木曜日・日曜日						
		男性ヘルパー2名 15分 車・原付バイク 携帯																		

オートロック鍵・玄関鍵←ヘルパー事業所

地域、防災機関←部屋までたどり着かない

マンション住民←玄関から入れない

不動産会社←鍵の保管はしていない

オーナー←鍵を持っている

事業所三者の話し合い・取り決め

最悪の場合の避難路の確認

事前のつながりと仕組みづくり

警察巡回←大規模災害の場合 地域巡回は出来ない

把握情報確認表

※ 1 氏名・生年月日・続柄

関係団体		自治会長	民生委員	消防団	警察署	消防局	不動産	A事業所	B事業所	C事業所	相談支援	備考
アセスメントシート基本情報												
	氏名	○			○		○	○	○	○	○	
	生年月日	○			○			○	○		○	
	年齢								○			
	住所	○			○		○	○	○		○	
	電話番号				○		○	○	○		○	
	家族構成	○※1				○※1		○	○		○	
	家族構成図							○	○		○	
	社会関係図								○		○	
	緊急連絡先				○			○	○		○	
	生活歴							○	○		○	
	現在の生活状況							○	○		○	
	被保険者情報等							○	○		○	
	現在利用しているサービス							○			○	
食生活・アレルギー等												
	アレルギー								○			
	感染症											
課題分析に関する項目												
	利用者の望む生活							○	○		○	
	家族の望む生活							○	○		○	

仕組みづくりの担い手（組織）育成（認識）

- ・対象別ニーズキャッチ（障がい種別・高齢・こども…）
- ・エリア別ニーズキャッチ（145自地会・17地区）
- ・被災者生活相談窓口（窓口一本化）
- ・専門支援（医療・保健・介護・栄養…）
- ・災害ボランティアセンター（片付け・寄り添い…）

仕組みづくりに必要な知識習得

①被災者生活相談窓口

- ・被災者生活相談窓口でのコーディネート
アセスメント（地域診断）・つなぐ・個別支援
- ・多様な団体の活動内容認識

②ニーズキャッチ

- ・対象別情報の収集能力
- ・エリア別情報収集能力

③災害ボランティアセンター

- ・市内ボラ活動情報収集能力
- ・外部ボラ活動情報収集能力

平常時と災害時の活動意識

「いつ」「なにを」「だれが」...
とるべき行動や行動時間、各組織
の役割を細部に亘って協議決定

安心して安全に
暮らし続けられる
地域づくりと人づくり

平成28年1月末日現在

大分市人口…479,155人

別府市人口…120,547人

南海トラフ巨大地震被害想定（死者 冬18時）

大分市……5,185人

佐伯市……8,584人

臼杵市……3,970人

津久見市…1,957人

別府市……1,289人

★大分市と別府市は寸断される
大分県北部市町村との広域連携
大分県外との広域連携



障がい者の受け入れ
被災地ではない場所での生活



別府市から大分県内へ

全国の要配慮者の仕組みが進むことを願って

亡くなった多くの命に報いるため

生かされている者の責務を果たす